2026 年 11 月 5 日
ＺＡＣＲＯＳ株式会社

情報記録用材の需要拡大に対応した追加設備投資の決定について

ZACROS 株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：下田 拓）は、本日開催の取締役会において、沼田事業所（群馬県沼田市）および昭和事業所（群馬県利根郡）へ、総額約 32 億円の追加設備投資を実施することを決議いたしましたので、お知らせいたします。本投資は、既存設備の改修により生産体制の最適化と増強を図るものであり、昨今の生成 AI をはじめとする AI 技術の急速な普及と、これを支えるデータセンター・HPC 向け半導体の需要拡大に対応するためのものです。

■ 投資決定の背景

AI 技術の急速な普及に伴い、半導体パッケージ基板の高多層化・高性能化が進展しています。こうした中で、味の素ファインテクノ株式会社様が製造・販売され、当社が受託塗工している半導体パッケージ用層間絶縁材料「味の素ビルドアップフィルム®」（ABF®）の需要は、量・スピードの両面において従来の想定を大幅に上回るペースで拡大しております。当社は既存機の改造により増産対応を進めてまいりましたが、今後も継続すると見込まれる需要拡大に対し、確実かつ安定的な供給体制を構築するため、本追加投資の実施を決定いたしました。

■ 設備投資の内容

① 設置事業所	沼田事業所（群馬県沼田市町田町 1520 番地） 昭和事業所（群馬県利根郡昭和村森下 2080 番地 14）
② 投資内容	既存設備・建屋の改造、追加設備の導入 （全体の生産能力向上を目的とした改造を含む）
③ 投資総額	約 32 億円（予定）
④ 生産開始	2028 年上期（予定）

■ 今後の見通し

当社は、本投資により ABF®の需要拡大に対して確実かつ安定的な供給体制を構築してまいります。また、本投資を通じた情報電子事業全体の生産基盤強化は、全てのお客様への

安定的な供給に繋がるものと考えております。当社は、こうした取り組みを通じてステークホルダーの皆様のご期待に応えるとともに、持続的な収益成長と企業価値向上を実現してまいります。

また、本件における当期業績に与える影響は軽微であります。今後の設備導入の進捗状況等により、業績に与える影響が発生すると判断した場合には、速やかに開示をしてまいります。

■　本件に関するお問い合わせ先

ＺＡＣＲＯＳ株式会社　総務部　広報グループ
URL：https://www.zacros.co.jp/contact/